

愛称：あんしんスイッチ
 SMBC・アムンディ
 プロテクト&スイッチファンド

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2017年7月28日から2033年7月11日までです。	
運用方針	世界の株式、債券、不動産投資信託証券（各証券に関連する上場投資信託証券含む）および短期金融資産など、さまざまな資産へ投資し、資産配分を機動的に変更することにより、基準価額がプロテクトラインを上回るように運用しつつ、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。プロテクトラインは、基準価額の水準に応じて上昇します（設定時は9,000円）。一旦上昇したプロテクトラインは下がりません。基準価額がプロテクトラインまで下落した場合は、円建の短期金融資産等を中心とした安定運用に切り替えを行い、繰上償還します。基準価額がプロテクトラインを下回らないように、投資信託財産のための契約（保証契約）をクレディ・アグリコル・エス・エー（保証銀行）と締結します。保証契約により基準価額はプロテクトラインを下回ることなく繰上償還します。組入外貨建資産については、機動的に為替ヘッジを行います。また、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド	世界の株式、債券、不動産投資信託証券（各証券に関連する上場投資信託証券含む）および短期金融資産など
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎決算時（年1回決算、原則として毎年7月11日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2020年7月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 額)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	株 式 先 物 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	投 資 信 託 証 組 入 率	純 資 産 総 額
(設 定 日) 2017年7月28日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 61,317
1 期 (2018年7月11日)	9,914	0	△0.9	2.0	-	2.0	67.0	233,483
2 期 (2019年7月11日)	10,102	0	1.9	1.2	-	0.5	55.9	183,334
3 期 (2020年7月13日)	9,136	0	△9.6	-	40.6	-	13.0	111,200

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 株式先物比率、債券先物比率は「買建比率-売建比率」です。以下同じ。

(注3) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

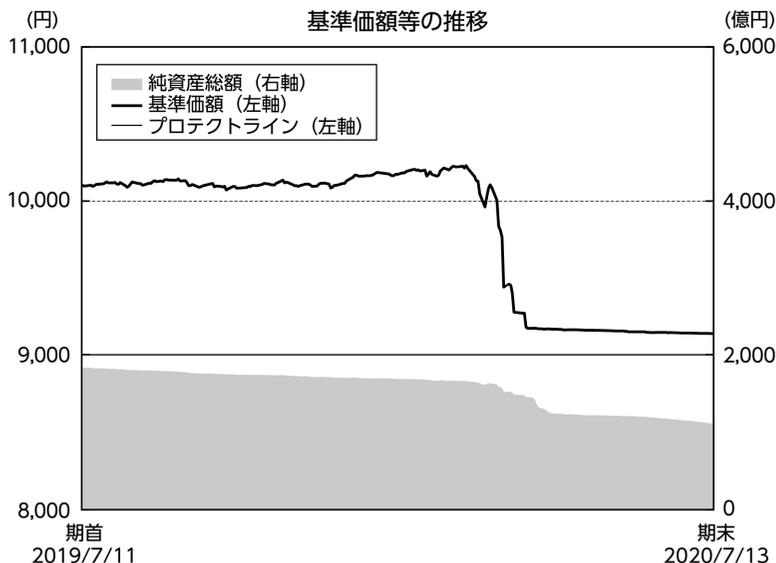
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 先 物 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	投 資 信 託 証 組 入 率
(期 首) 2019年7月11日	円 10,102	% -	% 1.2	% -	% 0.5	% 55.9
7 月 末	10,111	0.1	1.2	-	0.5	56.7
8 月 末	10,137	0.3	1.2	-	0.5	56.7
9 月 末	10,095	△0.1	1.2	-	0.5	58.9
10 月 末	10,104	0.0	1.3	-	0.5	64.0
11 月 末	10,117	0.1	1.3	-	4.6	62.2
12 月 末	10,186	0.8	1.4	-	4.4	65.0
2020年1月 末	10,173	0.7	1.3	-	4.5	62.8
2 月 末	10,047	△0.5	1.6	-	9.2	64.7
3 月 末	9,171	△9.2	-	53.2	-	14.8
4 月 末	9,156	△9.4	-	40.5	-	11.8
5 月 末	9,148	△9.4	-	41.1	-	13.1
6 月 末	9,140	△9.5	-	39.3	-	12.7
(期 末) 2020年7月13日	9,136	△9.6	-	40.6	-	13.0

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第3期首	10,102円
第3期末	9,136円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	△9.6%



(注) プロテクトラインは、基準価額が常にこれを上回る運用を目指す水準です。ただし、基準価額がプロテクトラインを必ず上回る運用をすることを委託会社が保証するものではありません。

【基準価額の主な変動要因】
下落要因

- ① 2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスを発端とした金融市場の混乱により、リスク回避の動きが強まり、株式市場が大きく下落するとともに、社債市場でスプレッド（国債との利回り格差）が急拡大したこと

上昇要因

- ① 2019年9月から年末にかけて、政治的不透明感の後退により株式市場が堅調に推移したこと
- ② 2020年2月から3月にかけてF R B（米連邦準備理事会）が政策金利をゼロに引き下げたことにより、米国国債の利回りが低下（債券価格は上昇）したこと

【投資環境】**＜世界の株式市場＞**

当期初は米中貿易摩擦の激化など市場の不透明感が増したことにより下落しました。しかし、2019年9月頃から年末にかけて、米中通商協議の進展、英国でのEU（欧州連合）離脱延期法案の成立および相次ぐ各国・地域の中央銀行による利下げなどにより、世界株式市場は堅調に推移しました。2020年に入ると、イランにおける地政学的リスクの顕在化や新型コロナウイルスの感染拡大懸念により、一時的に株式市場が下落する局面がみられたものの、2月中旬頃までは、米国の好調な企業決算や各国の景気対策などを背景におおむね堅調に推移しました。しかし、2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染が広範囲におよんだことで各市場において大幅な下落が相次いで記録されました。4月以降は急落した反動と大規模な景気対策が各国で出揃ったことによる安心感や経済活動再開に向けた模索が一部で始まったことなどが好感され底堅い推移となりました。6月には、株式市場の割高感が強まっていたことや、新型コロナウイルスの感染再拡大による景気回復の遅れが懸念されると一時急落する場面もみられました。しかし、その後は持ち直し、底堅く推移して期末を迎えました。

＜世界の債券市場＞

当期初は米中貿易摩擦の激化など市場の不透明感が増したことにより上昇しました。しかし、2019年9月頃から年末にかけては、ECB（欧州中央銀行）およびFRB（米連邦準備理事会）の追加利下げの金融緩和が実施されました。しかし、米中通商協議の進展および英国でのEU離脱延期法案の成立など政治的不透明感が解消されるにつれ投資家のリスクセンチメントが改善し、金利は上昇（債券価格は下落）基調となりました。2020年2月下旬以降は新型コロナウイルスによる景気後退懸念が高まるなか、リスク回避の動きにより主に米国の金利は低下（債券価格は上昇）しました。さらに、3月にFRBが緊急利下げを2回実施したことで米国の金利は一層低下しました。しかしその後、現金確保の動きが強まったことや各国における大型の財政出動期待で金利は上昇へと転じました。4月以降、米国ではFRBの国債購入減額を受け長期金利は一時上昇した一方で、厳しい経済指標を受け一転して大幅に低下するなど上下する動きとなりましたが、2月下旬から3月と比べて小動きのまま期末を迎えました。

＜為替市場＞

当期初は米中貿易摩擦の激化など市場の不透明感が増したことにより円の独歩高の様相となりました。しかし、2019年9月頃から年末頃までの期間は、米中通商協議の進展や英国の合意無きEU離脱の可能性が低下したことなど、世界の政治リスクが低下したことを背景に、円に逃避していた資金が流出し米ドル高となりました。12月頃にはリスク許容度が広がり、米ドルは軟調となり対円でも下落しました。2020年に入ると、中東情勢緊迫化から円高となったものの、米中が通商協議の第1段階の合意で署名したことや米国の経済指標が好調だったことを受け、米ドルが上昇しました。2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大や米国の大幅な緊

急利下げにより日米金利差が縮小したことから急激な円高・米ドル安となりましたが、その後、投資家の現金確保の動きが強まり、避難先としての米ドル需要が高まったことから米ドル高が進行しました。4月に入ると、月初に株安の影響から米ドル安が始まったものの、新型コロナウイルスの感染拡大を不安視したリスク回避の米ドル買いが強まりました。月末にかけては、日本の大型連休を控えた実需の米ドル売りがかさみました。5月はコロナ禍に係る米中対立などから米ドル安傾向で始まりましたが、ワクチン開発への期待や経済活動再開の機運が高まるにつれて米ドル買いが強まりました。ところが、6月に新型コロナウイルス感染再拡大の懸念が強まると、一転して米ドル安となるなど一時乱高下しました。7月から期末にかけて米ドルが弱含んだまま期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

当初はポートフォリオにおける短期金融資産等の比率を50%近くとし慎重なスタンスで運用を行っておりました。2019年9月から年末にかけて、市場のリスクセンチメントが改善するなかで、短期金融資産等の比率を引き下げ株式と債券への投資を徐々に増やしました。株式部分では、欧州株式、日本株式および新興国株式の組入比率を徐々に増やしました。債券部分では、主に欧州のハイイールド社債および新興国国債の比率を引き上げるとともに、欧州国債（イタリア国債）のポジションを導入しました。2月下旬以降、新型コロナウイルスを発端とした金融市場の混乱で株式市場が大きく下落するなか、FRBの利下げを見込み米国国債の比率を増やしました。また、3月にはリスク抑制を企図してハイイールド社債や新興国国債を一部売却しました。しかし、市場の下落は収まらず、中旬には株式の実質的な組入比率をゼロに近づけ、さらに下旬には、債券の組入比率を一層引き下げることで、短期金融資産等の組入比率を約95%まで引き上げました。5月末には投資適格社債を売却し米国国債への投資を開始し、慎重なスタンスを維持したまま期末を迎えました。当期、基準価額は10,600円を上回らなかったため、プロテクトラインは9,000円を維持しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます(分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください)。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

依然として基準価額とプロテクトラインの差は縮小した状態が続いています。基準価額の大きな変動の抑制を最優先としているものの、市場動向を注視しながら適切な投資機会を伺っています。当面は国債および投資適格社債等への資産配分により基準価額の回復をめざします。その後状況に応じて、ハイイールド社債や株式へ徐々に投資を拡大することを想定しています。

引き続き市場の大きな変動に備えて慎重な姿勢を維持しつつ、市場環境に応じて機動的な資産配分を行って参ります。

(アムンディ・アセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第3期 (2019年7月12日 ～2020年7月13日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	94円 (21) (70) (3)	0.962% (0.210) (0.719) (0.033)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1) (0)	0.009 (0.005) (0.004)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (保 証 料) (そ の 他)	25 (1) (0) (0) (22) (2)	0.252 (0.007) (0.002) (0.002) (0.223) (0.018)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 保証契約に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	120	1.223	

期中の平均基準価額は9,798円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

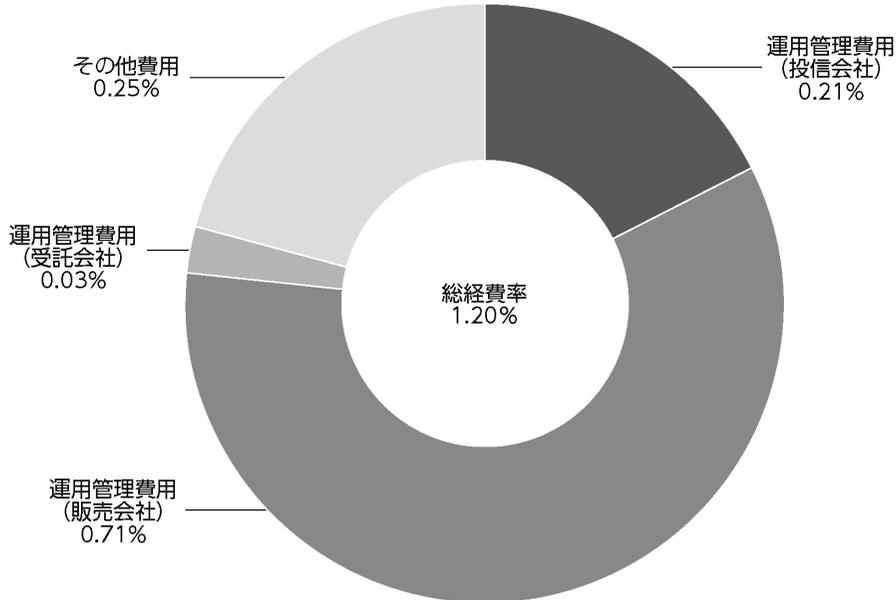
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.20%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2019年7月12日から2020年7月13日まで）

(1) 公社債

			買付額		売付額	
国	内		千円		千円	
		国債証券	164,063,884		-	
					(121,920,000)	
外国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ	
		フランス	7,823		-	
		オランダ	7,008		-	
		アメリカ	10,112		-	
		社債券（投資法人債券を含む）				

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未满是切捨てです。

(注3) ()内は償還等による増減分です。

(注4) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買付		売付		
			口数	金額	口数	金額	
外	アメリカ		口	千米ドル	口	千米ドル	
		ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EM	429,000	22,968	429,000	19,271	
		ISHARES MSCI GLOBAL GOLD MIN	200,000	4,472	1,032,828	20,797	
		VANGUARD INT-TERM CORPORATE	-	-	1,062,748	96,589	
		ISHARES USD HY CORP BD ETF USD DIST	-	-	280,764	25,963	
		ISHARES JPM EM LCL GOV BND	343,564	20,617	726,264	37,618	
		AMUNDI ETF US TREASURY 7-10	127,000	38,504	257,512	72,199	
		AMUNDI ETF GLOBAL EMERGING B	85,000	11,949	263,632	33,155	
		AMUNDI S&P 500 UCITS ETF	-	-	945,094	48,742	
		AMUNDI MSCI EMERGING MAR	4,383,781	20,778	6,513,494	25,565	
		AMUNDI PRI US CORP UCITS	4,333,000	87,471	4,333,000	77,660	
		AMUNDI US CORP SRI UCITS ETF	-	-	2,191,661	112,496	
		AMUNDI MSCI USA MINVOL UCIT	934,000	65,500	934,000	51,241	
	小計	口数・金額	10,835,345	272,263	18,969,997	621,300	
国	ユ	フランス	口	千ユーロ	口	千ユーロ	
		AMUNDI ABS IC	-	-	291	68,694	
		AMUNDI ETF GOVIES 0-6M EUR INV GRD UCITS	-	-	457,000	53,600	
		AMUNDI BBB EUR CORP INV GR	-	-	5,026,955	69,780	
		小計	口数・金額	-	-	5,484,246	192,075
	ロ	ルクセンブルク					
			AMUNDI MSCI ERP VALUE FACTOR	121,850	26,826	121,850	18,549
			AMUNDI EURO CORPORATES-C	-	-	384,305	77,507
			AMUNDI JPX-NIKKEI 400 UCITS	243,867	36,832	306,157	38,186
			AMUNDI EUR HY LIQ BD IBOXX	63,336	14,695	287,075	52,708
		AMUNDI ETF MSCI EMU UCITS DR	10,623	2,370	57,219	8,764	
	AMUNDI MSCI ERP MIN VOLAT	33,000	3,539	33,000	3,627		
	小計	口数・金額	472,676	84,264	1,189,606	199,344	
	ユーロ合計	口数・金額	472,676	84,264	6,673,852	391,419	

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未满是切捨てです。以下同じ。

(3) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新 規 買 付 額	決 済 額	新 規 売 付 額	決 済 額
外国		百万円	百万円	百万円	百万円
	株 式 先 物 取 引	5,045	6,761	19,068	17,413
	債 券 先 物 取 引	31,917	32,284	2,203	2,226
	そ の 他 先 物 取 引	53,234	65,187	—	—

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。以下同じ。

(4) オプションの種類別取引状況

銘 柄 別		コ ー ル プ ッ ト 別	買 建				売 建			
			新 規 買 付 額	決 済 額	権 行 利 使	権 利 放 棄	新 規 売 付 額	決 済 額	権 被 行 使	義 務 消 滅
外国	株 式 オ プ シ ョ ン 取 引	コ ー ル	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
			374	371	—	151	69	138	—	17
		プ ッ ト	118	—	—	119	166	438	—	—

(注) 単位未満は切捨てです。

■主要な売買銘柄 (2019年7月12日から2020年7月13日まで)

(1) 公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第883回国庫短期証券	50,011,950		
第900回国庫短期証券	25,009,500		
第884回国庫短期証券	15,004,680		
第917回国庫短期証券	10,001,740		
第911回国庫短期証券	9,002,310		
第881回国庫短期証券	7,601,307		
第839回国庫短期証券	6,602,277		
第894回国庫短期証券	6,101,747		
第902回国庫短期証券	6,001,698		
第887回国庫短期証券	6,001,518		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

(2) 投資信託証券

買			付			売			付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
	口	千円		口	千円		口	千円		口	千円
AMUNDI PRI US CORP UCITS(アメリカ)	4,333,000	9,562,381	AMUNDI US CORP SRI UCITS ETF(アメリカ)	2,191,661	12,246,617						
AMUNDI MSCI USA MINVOL UCIT(アメリカ)	934,000	7,172,291	VANGUARD INT-TERM CORPORATE(アメリカ)	1,062,748	10,553,926						
AMUNDI JPK-NIKKEI 400 UCITS(ユーロ・ルクセンブルク)	243,867	4,349,049	AMUNDI EURO CORPORATES-C(ユーロ・ルクセンブルク)	384,305	9,266,522						
AMUNDI ETF US TREASURY 7-10(アメリカ)	127,000	4,140,424	AMUNDI PRI US CORP UCITS(アメリカ)	4,333,000	8,454,776						
AMUNDI MSCI ERP VALUE FACTOR(ユーロ・ルクセンブルク)	121,850	3,211,605	AMUNDI BBB EUR CORP INV GR(ユーロ・フランス)	5,026,955	8,342,301						
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EM(アメリカ)	429,000	2,505,427	AMUNDI ABS IC(ユーロ・フランス)	291	8,089,108						
AMUNDI MSCI EMERGING MAR(アメリカ)	4,383,781	2,266,083	AMUNDI ETF US TREASURY 7-10(アメリカ)	257,512	7,890,782						
ISHARES JPM EM LCL GOV BND(アメリカ)	343,564	2,253,396	AMUNDI ETF GOVIES 0-6M EUR INV GRD UCITS(ユーロ・フランス)	457,000	6,352,354						
AMUNDI EUR HY LIQ BD IBOX(ユーロ・ルクセンブルク)	63,336	1,784,864	AMUNDI EUR HY LIQ BD IBOX(ユーロ・ルクセンブルク)	287,075	6,302,810						
AMUNDI ETF GLOBAL EMERGING B(アメリカ)	85,000	1,309,210	AMUNDI MSCI USA MINVOL UCIT(アメリカ)	934,000	5,577,167						

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■ 利害関係人との取引状況等（2019年7月12日から2020年7月13日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細（2020年7月13日現在）

(1) 公社債

A 債券種類別開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	42,100,000	42,105,589	37.9	—	—	—	37.9	
合計	42,100,000	42,105,589	37.9	—	—	—	37.9	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。以下同じ。

(注2) 単位未満は切捨てです。以下同じ。

(注3) -印は組入れなしです。以下同じ。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。以下同じ。

(B) 外国（外貨建）公社債

区 分		額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入比率	末		
			評 価 額				残 存 期 間 別 組 入 比 率		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ユーロ	フランス	7,800	7,808	943,901	0.8	—	—	—	0.8
	オランダ	7,000	6,997	845,906	0.8	—	—	—	0.8
	アメリカ	10,000	10,103	1,221,250	1.1	—	—	—	1.1
合 計		24,800	24,909	3,011,057	2.7	—	—	—	2.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

B 個別銘柄開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	当 期			末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国 債 証 券	第902回国庫短期証券	—	千円 6,000,000	千円 6,000,096	2020/7/20	
	第907回国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,455	2020/8/17	
	第909回国庫短期証券	—	2,100,000	2,100,231	2020/8/24	
	第911回国庫短期証券	—	9,000,000	9,001,152	2020/8/31	
	第912回国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,895	2020/9/7	
	第914回国庫短期証券	—	5,000,000	5,001,010	2020/9/14	
	第917回国庫短期証券	—	10,000,000	10,001,750	2020/9/23	
合 計			42,100,000	42,105,589		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。以下同じ。

(B) 外国（外貨建）公社債

種 類	銘 柄	当 期		末		償 還 年 月 日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	(ユーロ・・・フランス) BFCM 0.125 08/30/21	% 0.125	千ユーロ 7,800	千ユーロ 7,808	千円 943,901	2021/8/30
	(ユーロ・・・オランダ) SIEGR 0 09/05/21	—	7,000	6,997	845,906	2021/9/5
	(ユーロ・・・アメリカ) TOYOTA 1 09/10/21	1.0	10,000	10,103	1,221,250	2021/9/10
合 計			—	—	3,011,057	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首 (前期末)		当 期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(米ドル)	口	口	千ドル	千円	%
ISHARES MSCI GLOBAL GOLD MIN	832,828	—	—	—	—
VANGUARD INT-TERM CORPORATE	1,062,748	—	—	—	—
ISHARES USD HY CORP BD ETF USD DIST	280,764	—	—	—	—
ISHARES JPM EM LCL GOV BND	382,700	—	—	—	—
AMUNDI ETF US TREASURY 7-10	257,512	127,000	38,747	4,139,778	3.7
AMUNDI ETF GLOBAL EMERGING B	178,632	—	—	—	—
AMUNDI S&P 500 UCITS ETF	945,094	—	—	—	—
AMUNDI MSCI EMERGING MAR	2,129,713	—	—	—	—
AMUNDI US CORP SRI UCITS ETF	2,191,661	—	—	—	—
小 計	口 数	口 数	金 額	金 額	
	銘 柄 数	銘 柄 数	< 比 率 >	< 比 率 >	
	8,261,652	127,000	38,747	4,139,778	
	9	1	—	<3.7%>	
(ユーロ)			千ユーロ		
AMUNDI ABS IC	291	—	—	—	—
AMUNDI ETF GOVIES 0-6M EUR INV GRD UCITS	1,187,582	730,582	85,565	10,343,189	9.3
AMUNDI BBB EUR CORP INV GR	5,026,955	—	—	—	—
AMUNDI EURO CORPORATES-C	384,305	—	—	—	—
AMUNDI JPX-NIKKEI 400 UCITS	62,290	—	—	—	—
AMUNDI EUR HY LIQ BD IBOXX	223,739	—	—	—	—
AMUNDI ETF MSCI EMU UCITS DR	46,596	—	—	—	—
ユーロ小計	口 数	口 数	金 額	金 額	
	銘 柄 数	銘 柄 数	< 比 率 >	< 比 率 >	
	6,931,758	730,582	85,565	10,343,189	
	7	1	—	<9.3%>	
合 計	口 数	口 数	金 額	金 額	
	銘 柄 数	銘 柄 数	< 比 率 >	< 比 率 >	
	15,193,410	857,582	—	14,482,968	
	16	2	—	<13.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じ。

(注2) <>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) -印は組入れなしです。以下同じ。

(3) オプションの銘柄別期末残高

銘柄別	コール プット別	当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外 国 株 式		百万円	百万円
EUROSTOXXC37	コール	31	—

■投資信託財産の構成 (2020年7月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%
投 資 証 券	45,116,646	39.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,482,968	12.8
投 資 信 託 財 産 総 額	53,670,917	47.4
	113,270,531	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (25,384,442千円) の投資信託財産総額 (113,270,531千円) に対する比率は22.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年7月13日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=106.84円、1ユーロ=120.88円、1英ポンド=134.99円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年7月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	138,459,761,374円
コール・ローン等	53,446,815,200
公社債(評価額)	45,116,646,942
投資証券(評価額)	14,482,968,019
コール・オプション(買)	31,154,402
未 収 入 金	25,253,710,900
未 収 利 息	358,314
前 払 費 用	10,674,762
差入委託証拠金	117,432,835
(B) 負 債	27,259,554,492
未 払 金	25,338,193,244
未 払 解 約 金	998,283,833
未 払 信 託 報 酬	766,661,825
未 払 利 息	98,431
その他未払費用	156,317,159
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	111,200,206,882
元 本	121,710,326,787
次 期 繰 越 損 益 金	△10,510,119,905
(D) 受 益 権 総 口 数	121,710,326,787口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,136円

(注記事項)

期首元本額	181,476,280,299円
期中追加設定元本額	5,412,631,254円
期中一部解約元本額	65,178,584,766円

■損益の状況

当期 自2019年7月12日 至2020年7月13日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	382,108,364円
受 取 配 当 金	392,960,124
受 取 利 息	5,485,868
そ の 他 収 益 金	26,941,172
支 払 利 息	△43,278,800
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△9,970,559,576
売 買 損 益	2,623,194,711
買 買 損 益	△12,593,754,287
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	105,448,639
取 引 損 益	2,902,127,634
取 引 損 益	△2,796,678,995
(D) 信 託 報 酬 等	△2,244,329,548
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△11,727,332,121
(F) 前期繰越損益金	1,101,517,204
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	115,695,012
(配当等相当額)	(51,882,507)
(売買損益相当額)	(63,812,505)
(H) 計 (E+F+G)	△10,510,119,905
(I) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (H+I)	△10,510,119,905
追 加 信 託 差 損 益 金	115,695,012
(配当等相当額)	(51,882,507)
(売買損益相当額)	(63,812,505)
分 配 準 備 積 立 金	1,101,517,204
繰 越 損 益 金	△11,727,332,121

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
信託約款(以下「約款」)第41条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の45以内の率を乗じて得た額を支払っております。

(注5) 保証料
保証料は、クレディ・アグリコル・エス・エーに対する支払いで、約款第18条の⑤に基づき、約款第41条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の22の率を乗じて得た金額を支払っております。

■分配金のお知らせ

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項 目	第3期
	(2019年7月12日～2020年7月13日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	94

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

- ・運用指図の権限を委託する法人名の日本語表記の変更に伴い、2019年10月12日付で約款に所要の変更を行いました。